

対象者の領域	※該当する項目()に○を入れる。 身体障害 (○)、精神障害 ()、発達障害 ()、高齢者 ()、 その他 ()
自助具の分類	※該当する項目()に○を入れる。 食事動作 ()、整容動作 ()、更衣動作 ()、排泄動作 ()、入浴動作 ()、 コミュニケーション ()、趣味・余暇活動 () その他 (○ 福祉用具管理)
用具の種類	※該当する項目()に○を入れる。 工夫・改良品 ()、個別製作品 (○) ※ 工夫・改良品 市販品を工夫・改良し活用しやすくした物、 個別製作品 アイデアから個別に製作したオリジナルな物、とする
応募作品の概要	※作品の目的や効果、特徴、新規性・独創性（オリジナリティー）などを簡潔に記載する。 当院回復期リハ病棟での福祉用具の貸出は、靴ベラの使用が9割程度と最も頻度が多い傾向にあり、リーチャーなどと併用して更衣自立に向けて貸出する事もある。 しかし、貸出後の福祉用具の管理状況を確認すると、床に落ちている・床頭台上に置いている・ゴミ箱に入れていることを多く散見していた。過度な前傾姿勢による腰痛悪化や立ち上がり時の転倒が過去にあったこと、衛生面での懸念もあり、整理整頓方法の工夫が早急に必要と考えられた。 そこで、S字フックやペットボトルの切り抜きを活用し、ベッドのサイドレールに設置したことで安全かつ容易に福祉用具を使用できるようになり、患者からも好意的な反応があった。また、試用期間を設けたのちに全体に周知し、福祉用具係で適宜確認していることで現状ではインシデント報告は無く貸出できている。
工夫したポイント	・ベッド座位姿勢から手を伸ばせば容易に届く場所に配置し、 使用前の取り出しやすさと使用後の片付けのしやすさを考慮し ペットボトルには切り込みを入れた
利用上の留意点	※使用上の注意点、耐久性、衛生面といった留意点を記載する。 ・ペットボトルの切り抜きで手を傷つけないように保護した。

【応募作品の紹介】 *A4用紙2枚以内にフォントサイズ10.5ptにて記載してください。

作製の準備	※使用材質、道具、工具、材料費、などを記載する。 ・S字フック ※在庫品 0円 ・空きのペットボトル ※在庫品 0円 ・ビニールテープ ※在庫品 0円 ・カッター、はさみ ※在庫品 0円
-------	---

※作品の外観、作り方・製作過程、活用場面について写真と説明文を用いて記載する。

※画像は最大10枚とし、自助具の特徴や使用状況が分かるような写真を使用する。

1. 作品の外観



2. 作り方・製作過程

《S字フックの場合》

①引っ掛けて結束バンドで装着後にビニールテープで保護した

《ペットボトル切り抜きの場合》

①ペットボトルをすすいで乾かす

②上面・下面部分をカッターで切り、真ん中部分を使う。切り込みを入れる。

③切った部分をビニールテープで保護する



応募
作品
の
特徴

3. 活用場面

脳血管障害・整形外科疾患・老年期障害など疾患を問わず福祉用具(靴べら・リーチャー)の貸出時に整理整頓の工夫をしたことで、安全に更衣(靴着脱)自立を維持できている。患者からは、「使いやすくなった」「床に落ちて結局人を呼んでいたのが無くなった」「凄いいね、いいねー」と好意的かつ活用されている反応が多かった。結果に対しては、掲示や全体連絡で周知した(下図)。



応募作品
の
特徴

<写真の使用に関して> ※該当する項目()に○を入れる。

用いている写真に個人情報が含まれる場合:

⇒対象者に同意を得ている (), 対象者に同意を得ていない (), 該当せず (○)

※ご記入いただいた個人情報は、本コンテストの目的以外には一切使用致しません。